

県議会における論議の状況
【総合政策建設委員会委員長報告】

資料 1

(令和3年第3回定例会)

鹿児島県総合政策部スポーツ施設対策室

1 請願・陳情について

- ・ 新たな総合体育館の整備について、県産材の活用を求める陳情第3014号については「県公共建築物等木材利用促進方針に基づき、可能な限り木造化または内装等の木質化を推進している。新たな総合体育館についても、県産材の活用を基本構想に位置づけ、基本設計、実施設計の段階で積極的に検討を行うべき」として採択を求める意見があり、全会一致で採択すべきものと決定した。(陳情の内容は資料1-1参照)

2 県政一般の特定調査について

- ・ 年間特定調査である「新たな総合体育館の整備」について、集中的な論議が交わされ、新たな総合体育館のコンセプト、立地環境を踏まえた整備候補地の選定に関して、県土の均衡ある発展という視点で知事と議論がなされたかについて質問があり、「知事からは特定の場所の話はなく、科学的に県民の方々が納得していく形で進めるように」との答弁があった。
- ・ また、八千人規模の観客席を想定した場合の敷地面積に該当する鹿児島市内の県有地と、今後の候補地選定に向けた考え方について質問があり「類似施設の敷地面積の平均値に見合った県有地を機械的に抽出すると、農業試験場跡地、ドルフィンポート跡地、鴨池ニュータウン9・10号街区、住吉町15番街区の4箇所になる。整備候補地については、最低限必要となる敷地面積のほか、都市計画等への適合性、アクセス道路の状況、周辺住民への影響など選定に係る項目を検討しているところであり、次回の検討委員会で複数の候補地を提示し一箇所に絞り込んでいただきたいと考えている」との答弁があった。
- ・ 委員からは「交通アクセス、収支の問題、経済効果のほか鹿児島アリーナとの棲み分けなど県民に説明できるかたちで進めて欲しい」との要望があった。